



東垂水まちあるきマップ

地元人が案内する

海と緑と太陽と



身近な魅力資源がいそいそと輝くまち 垂水

「垂水」の地名の由来にもなったといわれる滝、たるみを詠んだ歌を刻む万葉歌碑、昔の名残をとどめる寺や地名など、東垂水にはまちの歴史を伝える要素がいっぱいです。また海に面したこのまちでは、江戸時代から旅人たちの目を楽ませってきた素晴らしい眺望も魅力のひとつ。高台には明石海峡大橋を見渡せるビュースポットが数多く存在し、憩いの場として地域の人たちに楽しまれています。

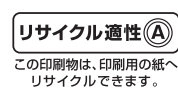
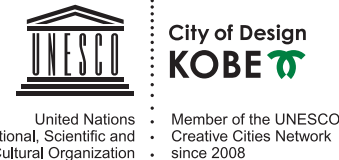
「東垂水まちあるきマップ」は、「こうしだ」身近にある地域の魅力”を再発見し、地域内外の人たちに広くPRすることを目的に作成しました。

まちあるきマップの使い方

マップには「東垂水の四季」をテーマに、季節のおすすめを4コース用意しました。各スポットには、みどころやひとこと説明を掲載しています。このマップをきっかけに何度も東垂水のまちを歩き、マップで紹介しきれなかったあなただけのお気に入りのスポットを探してみてください。まちはきっと、あなたにとってもっと愛着がわく、魅力あふれるものになっていくはずです。

編集後記

この地図は、垂水区民まちづくり会議における東垂水生活文化部会において、まちづくり活動の一環として作成しました。多くの皆さんにご利用いただきたいと思います。



凡例	
学校・幼稚園等	社会福祉施設
公共施設	郵便局
社寺・史跡等	交番
駅	幼稚園・保育所
海・川	学校
信号	主な階段
バス道・バス停	イラストポイント
山陽電鉄	桜並木
JR	街路樹
公園	春のコース
緑地	夏のコース
ビュースポット	秋のコース
トイレ	冬のコース



海から見た東垂水

※数字は海水面からの高さを示しています

わたしの おすすめ

東垂水にただ一つ残るため池・菅の池

昔は東垂水地域にはたくさんため池がありました。菅の池は東垂水地区にただ一つ残されている池で、昔は灌漑用に利用されていたようです。100m四方ぐらいあり、土手からの傾斜が急で危険ですが水辺が飛来し、翼を休め越冬する姿が見られます。開放感があり、ここから周辺に見える明石海峡大橋の眺めがすばらしいものです。(E.S)

わたしの おすすめ

東垂水展望公園でゆったり気分を

朝日が登る時から夕日が沈むまで、晴れた日など、一日中どの時間に行っても気持ちがいいかとなく「いかなごくぎ煮」を炊く香ばしい匂いが漂ってきます。遠方の親戚、友人に春の挨拶として「くぎ煮」を送り、たいへん喜ばれてます。平成13年NPO法人輝たかまるが、歌詞を一般公募して「いかなごくぎ煮」のCDも誕生。三世代が踊れる振り付けで、くぎ煮ダンスでGO!GO!GO!と明るく踊っています。(T.S)

わたしの おすすめ

垂水の春といえば「いかなごくぎ煮」

3月に入って垂水の町を歩くところからともなく「いかなごくぎ煮」を炊く香ばしい匂いが漂ってきます。遠方の親戚、友人に春の挨拶として「くぎ煮」を送り、たいへん喜ばれてます。平成13年NPO法人輝たかまるが、歌詞を一般公募して「いかなごくぎ煮」のCDも誕生。三世代が踊れる振り付けで、くぎ煮ダンスでGO!GO!GO!と明るく踊っています。(T.S)

わたしの おすすめ

遠くは紀伊半島を望む井植記念館

ジェームス山の頂にある井植記念館は、眼下に大阪湾、淡路島、明石海峡大橋を望む、眺望のすばらしい場所であり、遠く紀伊半島より登る朝日、西の明石海峡に沈む夕日の美しさは抜群です。朝のラジオ体操、青少年活動の場としても利用しています。開園時間帯は館内を自由に見学でき、説明案内書等もあります。(土日休館) (N.T)

わたしの おすすめ

JR垂水駅

高丸のまち、遠く眺望に広がります。

わたしの おすすめ

明石海峡大橋

平成10年4月5日に開通した、全長3,911m、中央支間長1,911m、主塔の高さ293.3mという世界最長の吊橋。夜間は季節や時間などによって多彩に変化するライトアップが施されます。その姿が「真珠を連ねたように」美しいことから「パールブリッジ」の愛称でも親しまれています。

山手ふれあい階段

見晴らし階段に続き、東垂水地区で整備された二つ目の階段。東垂水地区まちづくり推進会が地区内課題路線の一つとして選定し、行政と地域住民の協力によって整備が実現しました。階段上下の踊り場に設置された記念碑には、整備前の階段の姿や、当時の協働によるまちづくりの記録が残されています。写真は完成記念イベントでの集合写真。

わたしの おすすめ

山陽東垂水駅

冬は和歌山まで見晴らすことができるといふ展望公園。子供つれの若いお母さんの姿もたくさん見られます。



冬の夜空とイルミネーション

明石海峡大橋と垂水の夜景(淡路島から撮影)
(写真:本州四国連絡橋公司提供)

わたしの おすすめ

海神社秋祭り(海上渡御)

海神社は今から千数百年前、神功(じんぐう)皇后の軍船が垂水の沖で嵐に遭遇した際に、守ってくれた神たちをまつたのが由来とされています。秋祭りは毎年10月10~12日に行われ、12日にはみこしをのせた船(御船)で海にのりだす海上渡御が行われます。昭和の初期に始まった渡御祭は、航海の安全と漁業繁栄を祈願する祭りです。

恋人岬

平磯緑地の南西端に位置し、大阪湾を望む岬。昼間は青い空と白い雲、そしてキラキラ輝く海に包まれ、夕暮れ時には真っ赤な夕日が淡路島に沈み、ライトアップされたパールブリッジが夜間に浮かび上がる...この映画のワンシーンのような最高のロケーションに、いつの頃からか「恋人岬」と呼ばれるようになります。

冬

わたしの おすすめ

美山台のイルミネーション

クリスマスシーズンの時期になると、各家庭の電飾がまちをにぎやかに彩る中から、美山台のイルミネーションが目を惹いていました。

山陽東垂水駅

「坂のまち東垂水」を象徴する大きな坂。

センターかけはし

地域団地で管理・運営するコミュニティ施設。気軽に立ち寄り下さい。

見晴らし階段

東垂水地区まちづくり推進会が主体となり、地域のみなさんの意見をもちに整備された階段。

秋

わたしの おすすめ

滝の茶屋商店街

人情味あふれる買物風景は、下町ならではの。

平磯緑地・恋人岬

夕暮れの明石海峡大橋は特におすすめ!大切な人と一緒に訪れてください。

わたしの おすすめ

山陽沿線No.1!「滝の茶屋駅」

海に見える駅は、山陽沿線にはいくつもあるが、そので一番美しい海が光るのは「滝の茶屋駅」である。プラットホームから眼下に初夏の海がのびと広がる。東を向けば白亜のマンション郡、西を向けば淡路島に広がる明石海峡大橋、正面を向けば紀伊灘。その間を客船がゆっくりと堂々と進む。このホームの眺望は地中海を描いた壁画を足元に置いて真上から見るようだ。こういう美しい景観と感動を味わえる一番のお薦めスポットである。(Y.O)

わたしの おすすめ

山陽東垂水駅

「坂のまち東垂水」を象徴する大きな坂。

わたしの おすすめ

平磯緑地・恋人岬

夕暮れの明石海峡大橋は特におすすめ!大切な人と一緒に訪れてください。

わたしの おすすめ

美山台のイルミネーション

わたしの おすすめ

春の目差しと、街道に咲く花々

ジェームス山の桜

春

ジェームス山の桜

春の目差しと、街道に咲く花々

わたしの おすすめ

「滝」の由来

東垂水から塩屋へ続く道路の北側には、昭和に入ってから水の滴りが絶えることがなかった場所が4か所(胸捨の滝、琵琶の滝、泉地(おんち)滝、白滝)あったとされています。「垂火」というのは「垂れ火」=「滝」のことで、これらの滝が地名の由来になったものと推測されます。(写真は明治中期の滝の茶屋付近)

平磯灯標

「平磯」と呼ばれるこの灯台付近の海は暗礁になっていて、昔からたくさん船が難破する明石海峡の難所でした。木製の灯標を設置しても激しい潮流ですぐに流されてしまったため、明治26年(1893年)、英国人技師の指導で現在の灯台が建てられました。鉄筋コンクリート製で、日本産のセメントを使用した最初の灯台です。

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ

わたしの おすすめ